

ニューソフィア

New Sophia

84号

[vol.22-4]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています

Featuring News

田中 健藏氏を理事長に再選

学園の役員・評議員を改選

- 大学教育再生加速プログラム(A.P.)採択
- 地域連携センター 早良区地域保健福祉課と健康診断実施
- 「教育用医療デジタル画像作成及び配信システム」を導入

Campus News

- 第23回日本歯科医学会総会 第1回常任委員会開催
- 日本歯科医師会 大久保満男会長講演 ● 福岡歯科大学 生涯研修
- 福岡歯科大学大学院特別奨学生・奨学生表彰及び
福岡歯科大学S.A委嘱状交付、大学院R.A、T.A辞令交付

「健康まるごと福岡学園」開催案内

Seasonal Topics

第46回全日本歯科学生総合体育大会

People

関口 睦夫 客員教授にインタビュー

- 福岡歯科大学最優秀教育改善賞が決定
- 谷口 邦久前教授 名誉教授に
- 先端科学研究センター長・副長 紹介
- 原田博文教授(逝去)

Events

- 老化制御研究センター 第2回研究発表会開催
- 大学院特別講義 ■ 第6学年が東林寺で座禅
- サンシャインシティ納涼祭

From Alumni

同窓会だより

Hill From Clinic

菅原健二 医院へ大分県大分市
アイ歯科矯正歯科クリニックへ熊本市中央区

Students & Parents

学生&保護者様からのメッセージ

Information

平成27年度入試日程／オープンキャンパス
学去部写真展開催



田中 健藏氏を 理事長に再選

学園の役員・評議員を改選

任期満了に伴う本学園の理事・監事・評議員の改選が、7月15日及び8月3日に開催された理事会、評議員会で行われ、理事11名、監事2名、評議員25名が決まりました。また、理事長に田中健藏氏が、常務理事に水田祥代・本田武司の両氏が再任されました。

なお、今期より新たに新理事・評議員として多田昭重氏、古谷野潔氏、新評議員として阿南壽氏、大星博明氏、江頭啓介氏、持山達郎氏が選任されました。

任期は平成26年8月3日から平成29年8月2日の3年間。選任された理事、監事、評議員は次のとおりです。



田中 健藏 理事長

理事

- 田中 健藏 (福岡学園理事長)
- 水田 祥代 (福岡学園常務理事)
- 本田 武司 (福岡学園常務理事)
- 北村 憲司 (福岡歯科大学長)
- 栢 豪洋 (福岡医療短期大学長)
- 宮口 巖 (福岡歯科大学同窓会会長)
- 多田 昭重 (西日本新聞社顧問)
- 小島 寛 (福岡歯科大学医科歯科総合病院長)
- 厚谷 彰雄 (福岡学園事務局長)
- 古谷野 潔 (九州大学大学院教授)
- 長谷 宏一 (福岡県歯科医師会会長)

監事

- 藤野 正春 (元西日本シティ銀行専務取締役)
- 西方 和久 (税理士法人西方会計代表社員)

評議員

- 田中 健藏 (福岡学園理事長)
- 北村 憲司 (福岡歯科大学長)
- 栢 豪洋 (福岡医療短期大学長)
- 小島 寛 (福岡歯科大学医科歯科総合病院長)
- 厚谷 彰雄 (福岡学園事務局長)
- 香月 俊博 (福岡学園事務局次長)
- 本山久美子 (福岡学園財務課長)
- 石橋 慶憲 (福岡学園企画課長)
- 水田 祥代 (福岡学園常務理事)
- 本田 武司 (福岡学園常務理事)
- 阿南 壽 (福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長)
- 大星 博明 (福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長)
- 朔 啓二郎 (福岡大学医学部長)
- 古谷野 潔 (九州大学大学院教授)
- 多田 昭重 (西日本新聞社顧問)
- 長谷 宏一 (福岡県歯科医師会会長)
- 染矢 廣美 (歯科医師)
- 前原 喜彦 (九州大学大学院教授)
- 松田峻一良 (福岡県医師会会長)
- 江頭 啓介 (福岡市医師会会長)
- 熊澤 榮三 (福岡市歯科医師会会長)
- 宮口 巖 (福岡歯科大学同窓会会長)
- 高橋 裕 (福岡歯科大学同窓会顧問/
福岡歯科大学有床義歯学分野教授)
- 武井 俊哉 (福岡歯科大学同窓会副会長)
- 持山 達郎 (福岡歯科大学同窓会専務理事)

新理事・新評議員紹介



理事・評議員
多田 昭重
(西日本新聞社顧問)



理事・評議員
古谷野 潔
(九州大学大学院教授)



評議員
阿南 壽
(福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長)



評議員
大星 博明
(福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長)



評議員
江頭 啓介
(福岡市医師会会長)



評議員
持山 達郎
(福岡歯科大学同窓会専務理事)



学校法人福岡学園 理事・評議員会送別会が行われました。

退任役員

《理事・評議員》荒川 規矩男／田代 英雄／大石 秀雄
《評議員》中島 與志行／中山 宏明／池邊 哲郎／古賀 千尋

大学教育再生加速プログラム(AP)採択

福岡歯科大学、福岡医療短期大学は、この度、文部科学省平成26年度「大学教育再生加速プログラム(AP)」に採択されました。

AP事業は、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取り組みを実施する大学等を支援することを目的としており、GP事業の後継となるプログラムと言えます。

福岡歯科大学(テーマII)

学長のリーダーシップの下、成績やポートフォリオなどの様々な教学情報を一元的に収集、管理、分析する教育支援・教学IR室を新設し、ディプロマポリシーに関する学修成果の可視化を図っていきます。ディプロマポリシーと各授業の行動目標及び評価基準・水準を関連づけ、各学生の学修成果を把握することで、教育内容、方法等の改善を図ります。さらに卒業生の調査から得られた結果を教育にフィードバックすることによって、大学教育の質的転換と内部質保証を行うものです。

申請件数は、国公立の大学、短期大学、高等専門学校を合わせ250件で、3テーマ合計で46件が採択されました。

採択された事業内容は次のとおりです。

- テーマI: アクティブ・ラーニング
- テーマII: 学修成果の可視化

福岡医療短期大学(テーマI・II 複合型)

学修成果アセスメントテスト、学生の行動や満足度等に関する間接評価調査、産業界のニーズを反映させた共通ルーブリック、学生ポートフォリオなどを活用し、学修成果の可視化及びアクティブ・ラーニングの質向上と初年次導入教育・インターンシップ前教育・インターンシップ教育における汎用的能力の育成のための教育改善モデルを実践していきます。さらに、卒業後の専門職としての汎用的能力の定着の向上と医療・福祉系実践教育におけるアクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱を達成目標として、人材養成機能の抜本的強化を図っていきます。

教育支援・教学IR室 新設

大学教育再生加速プログラムの採択に伴い、教育支援・教学IR室が設置されました。同室は、口腔医学教育の推進並びに本学学生の学士力向上を図るため、学士課程教育に関する情報収集、分析し、学修成果の可視化を図るとともに、中長期的な企画立案、改善を担うものです。



採用 教育支援・教学IR室 准教授
内田 竜司

〔略歴〕福岡歯科大学歯学部卒、同大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。福岡歯科大学附属病院医員、大島町立病院歯科口腔外科非常勤歯科医、福岡歯科大学口腔外科学分野助手、口腔腫瘍学分野講師等を経て平成26年10月1日同室准教授に就任。博士(歯学)。熊本県出身。

地域連携センター

早良区地域保健福祉課と健康診断実施

8月6日、地域連携センターは早良区地域保健福祉課と合同で板屋地区(福岡市早良区)における健康診断を実施しました。

板屋地区は、福岡県最高峰の脊振山の中腹に位置し、地域住民31名のうち65歳以上の方が64%を占める、超高齢地区です。2004年にバス路線が廃止されたため、病院に通院することが極めて困難な医療過疎地域となっています。2010年5月に、本学高齢者歯科学分野(内藤徹教授)と早良区地域保健福祉課(水戸川真子保健師)を中心とした高齢者支援事業の取り組みが始まって以来4回目の健康診断となりました。本学からは歯科医師6名、看護師1名、歯科衛生士1名、早良区から保健師3名の計11名で板屋地区の住民6名を対象に口腔健診や口腔機能検査および血圧測定、栄養指導等健康調査を実施しました。

健診結果は、月例の健康教室を通じて住民にフィードバックされます。



口腔内健診



血液検査のための採血

『教育用医療デジタル画像作成及び配信システム』を導入

平成25年度私立学校施設整備費補助金の交付を受け、「フラットパネル撮影システム」、「医療画像管理システム」、「放射線情報システム」、「パノラマエックス線撮影装置」、「口内法撮影実習ファントム」、「超音波剪断波による組織硬度定量化装置」及び「デジタル口内法撮影装置」を含む『教育用医療デジタル画像作成及び配信システム』を医科歯科総合病院に導入しました。

これらの装置は主に臨床実習で使用される予定で、エックス線撮影装置はCR方式からフラットパネル方式へとこの数年で急速に転換しており、最新の技術に対応した教育が行えるようになります。本システムの導入により、口腔医学の深い知識を持ち、ICT社会で求められる技能を有した歯科医師の養成に活用されることが期待されます。



フラットパネル撮影システム



デジタル口内法撮影装置

日本歯科医師会 大久保満男会長講演

9月19日、本館9階講堂において日本歯科医師会の
大久保満男会長による講演「生きる力を支える生
活の医療」が行われました。この講演は、平成26年度福
岡歯科大学臨床セミナーの一環として行われたもので、
研修歯科医の他、在学生、教職員、医療関係者等も参
加し、およそ200名が熱心に聴講していました。会長は
全国各地で講演を行っており、超高齢社会における歯
科医療の意義や医科
歯科連携等について
お話いただきました。
こうしたお話は本学
の推進する口腔医学
に通じるものがあり、
参加者は大きな感銘
を受けていました。



第23回日本歯科医学会総会 第1回常任委員会開催

8月6日、福岡歯科大学口腔医療センター セミナー室に
おいて、第23回日本歯科医学会学術大会(総会)に係
る第1回常任委員会が開催されました。当該委員会は、来る
平成28年10月21~23日の3日間にわたり開催される総会の
企画、準備並びに運営の最高意思決定機関であり、田中健
藏会頭、北村憲司準備委員長、岡部幸司事務局長をはじめ、
日本歯科医学会、日本歯科医師会、福岡県歯科医師会の役
員並びに幹事校である九州内4大学(九州歯科大学、九州
大学、長崎大学、鹿児島大学)教授の13名で構成されてい
ます。当日は、日本歯科医学会 住友雅人会長や福岡県歯科
医師会 長谷宏一会長のほか、会頭補佐役の水田祥代・本
田武司両常務理事、幹事である九州内4大学学長・歯学部
長にもご出席いただき、これまでの経過報告とともに総会趣
意書、計画概要、メインテーマ及びシンボルマーク等につい
て協議が行われるなど、準備が本格的にスタートしました。

福岡歯科大学 生涯研修

生涯研修プログラム

福岡歯科大学では、同窓生や開業歯科医師等の生涯学習に資することを目的
に生涯研修プログラムを開催しています。医師の講義を含む貴重な内容です。

◎午前の部 / 10:00~12:00 ◎午後の部 / 13:00~15:00

※プログラムの内容や日程は変更になることがあります。

■開催場所:福岡歯科大学 口腔医療センター セミナー室
(福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル1F)

■定員:20名 ■参加費:30,000円(昼食代別)

■締切:10月24日(金)締切 ※先着順となります。お早目にお申込みください。

■問合せ先:福岡歯科大学歯科医師卒後研修委員会事務局 総務課

歯科臨床に役立つ生活習慣病の知識

●11月2日(日) ◎午前の部「高血圧と心筋梗塞」
◎午後の部「糖尿病」

講師:大星 博明教授、池邊 哲郎教授

●11月9日(日) ◎午前の部「消化管疾患」
◎午後の部「眼科疾患」

講師:篠原 徹雄教授、川野 庸一教授、池邊 哲郎教授

●11月30日(日) ◎午前の部「骨粗鬆症」
◎午後の部「慢性腎臓病」

講師:井上 敏生教授、徳本 正憲准教授、池邊 哲郎教授

福岡歯科大学大学院特別奨学生・ 奨学生表彰及び福岡歯科大学SA 委嘱状交付、大学院RA、TA辞令交付

6月18日、本館8階第3会議室において福岡歯科大学スチューデント・アシ
スタント(SA)の委嘱状交付式が行われました。また、6月19日、大学院特別
奨学生10名および大学院奨学生10名の表彰が行われました。表彰式後には
引き続き、大学院のリサーチ・アシスタント(RA)、ティーチング・アシスタント
(TA)の辞令交付式が行われ、北村大学長より辞令が手交されました。

平成26年度福岡歯科大学大学院特別奨学生等

福岡歯科大学大学院特別奨学生(修学資金として毎月16万円を支給)と
して次の10名を決定しました。

- 〈第4学年〉川越 慈 (矯正歯科学)
柳 東 (口腔インプラント学)
山口 雄一郎 (口腔インプラント学)
- 〈第3学年〉瀬野 恵衣 (総合歯科学)
谷口 祐介 (口腔インプラント学)
- 〈第2学年〉勝保 由里 (口腔外科学)
橋本 麻利江 (画像診断学)
- 〈第1学年〉有田 晴一 (歯周病学)
緒方 佳代子 (成育小児歯科学)
田崎 園子 (障害者歯科学)



福岡歯科大学大学院奨学生(修学資金として授業料相当額70万円を支
給)として次の10名を決定しました。

- 〈第4学年〉伊波 幸作 (総合歯科学) 永沼 香織 (口腔外科学)
吉良 迪子 (成育小児歯科学) 水上 正彦 (歯科保存学)
- 佐々木 三奈 (口腔腫瘍学) 野口 哲司 (高齢者歯科学)
- 高田 俊輔 (矯正歯科学) 藤田 隆寛 (矯正歯科学)
- 長岡 良礼 (口腔外科学) 田中 喜太郎 (分子機能制御学)

福岡歯科大学SA、大学院RA、TA

福岡歯科大学平成26年度スチューデント・アシスタント(SA)、大学院リサーチ・ア
シスタント(RA)及びティーチング・アシスタント(TA)に次の方が採用されました。

スチューデント・アシスタント(SA) [口腔歯学部] [大学院]

| 【口腔歯学部】 | 南館 崇夫 (第2学年) | 阿部 文香 (第2学年) | 三輪 佳愛 (第2学年) |
|--------------------|--------------|---------------|---------------|
| 〈第5学年〉石井 華子 (第3学年) | 大島 翔 (第3学年) | 伊藤 洋介 (第3学年) | 大迫 雅明 (第3学年) |
| 受田 直樹 (第3学年) | 小嶺 文誉 (第3学年) | 吉良 佳子 (第3学年) | 野口 哲司 (第3学年) |
| 大曲 紗生 (第3学年) | 佐藤 綾子 (第3学年) | 忽那 正彦 (第3学年) | 高良 憲洋 (第3学年) |
| 木下 裕紀子 (第3学年) | 富田 洋嘉 (第3学年) | 福岡 晃輝 (第3学年) | 田崎 園子 (第3学年) |
| 國廣 実希 (第3学年) | 福居 朋子 (第3学年) | 佐藤 晃平 (第3学年) | 松本 彩子 (第3学年) |
| 後藤 碧 (第3学年) | 藤本 亮太 (第3学年) | 関 仁貴 (第3学年) | 宮口 直之 (第3学年) |
| 藤本 有彩 (第3学年) | 森山 裕輔 (第3学年) | 森脇 千代 (第3学年) | 森 紘一郎 (第3学年) |
| 〈第4学年〉大草 貴恵 (第3学年) | 河村 修平 (第3学年) | 薬師寺 正道 (第3学年) | 筑紫 可奈子 (第3学年) |
| 三原 朋之 (第3学年) | 安光 達昭 (第3学年) | 中川 典子 (第3学年) | 野村 英壽 (第3学年) |
| 山本 繁 (第3学年) | 龍 大二郎 (第3学年) | 野村 英壽 (第3学年) | 宮園 響子 (第3学年) |
| 森 志穂美 (第3学年) | 白重 良 (第3学年) | | |

リサーチ・アシスタント(RA) [大学院]

| | |
|----------------------|----------------------|
| 〈第4学年〉坂井 真実子 (矯正歯科学) | 〈第2学年〉板家 智 (成育小児歯科学) |
| 廣松 亮 (歯周病学) | 今村 耕太 (矯正歯科学) |
| 宮崎 綾子 (矯正歯科学) | 梶原 弘一郎 (矯正歯科学) |
| 〈第3学年〉陶山 大輝 (矯正歯科学) | 坂口 結 (矯正歯科学) |
| 田村 翔悟 (成育小児歯科学) | 佐藤 絢子 (口腔インプラント学) |
| 戸田 雅子 (成育小児歯科学) | 瀬尾 皓 (冠橋義歯学) |
| 比嘉 ありさ (成育小児歯科学) | 永嵜 勝之 (口腔外科学) |
| 松尾 嘉之 (矯正歯科学) | 〈第1学年〉佐々木 浩乃 (有床義歯学) |
| 丸尾 直樹 (歯周病学) | 松本 彩子 (口腔インプラント学) |

ティーチング・アシスタント(TA) [大学院]

| | |
|---------------------|-------------------|
| 〈第1学年〉石井 太郎 (矯正歯科学) | 福地 浩文 (総合歯科学) |
| 高良 憲洋 (障害者歯科学) | 松田 裕子 (矯正歯科学) |
| 田中 文恵 (口腔外科学) | 宮口 直之 (口腔インプラント学) |
| 中山 英明 (歯科保存学) | 森 紘一郎 (口腔外科学) |
| 萩尾 佳那子 (総合歯科学) | 山口 真広 (高齢者歯科学) |

「健康まるごと福岡学園」開催案内

開催日時 平成26年10月25日(土) 11:00～18:00 / 26日(日) 10:00～18:00 開催場所 福岡歯科大学

学園祭「田の歯科祭」

お楽しみイベント盛りだくさん!

25日(土) 11:00～18:00 / 26日(日) 10:30～18:00

- 各種グランプリ、ライブ、ビンゴ大会、模擬店、ダンス
- 地域の子供たちのパフォーマンス
- お笑いライブ(ニッチェ、ルシファー吉岡)



ニッチェ



昨年の様子



ルシファー吉岡

医科ミニ講座

どなたでもご参加いただける30分のミニ講座です。講演後は質問相談タイムもあります。

25日(土) 15:00～17:00

- 耳鼻咽喉科:山野 貴史講師「ものの飲み込みについて」
- 内科:山田 俊輔助教授「知って得する慢性腎臓病の知識」
- 整形外科:加島 伸浩助教授「あなたの歩きを支える正しい靴の選びかた」

26日(日) 10:30～12:30

- 小児科:鳥巢 浩幸准教授「てんかんの正しい理解」
- 外科:篠原 徹雄教授「胃癌検診とヒロリ菌」
- 口腔顔面美容医療センター/形成外科:萩家 康弘准教授「アンチエイジングでごきげんな生活を」



昨年の様子

歯科無料相談

お気軽にお立ち寄りください。

26日(日) 10:00～15:00

- 歯科の無料相談を行います。
- 歯周病チェック、歯垢チェックコーナー
- 歯ブラシ、電動歯ブラシ展示



昨年の様子

からだの科学展

参加費無料!

25日(土) 14:00～16:30
26日(日) 10:00～16:30

- 見る、聞く、触れる、体験するからだの不思議(展示・体験ブース)
- 入場、体験無料



昨年の様子

短大企画「口から始める介護予防」

25日(土) 14:00～16:30 / 26日(日) 10:00～16:30

- 「認知症サポーター養成講座」(25日(土) 13:00～14:30)
- 高齢者、視覚障害者疑似体験、車椅子体験、点字体験
- 介助犬についての講演
- 福祉施設の活動紹介
- 歯ッピークイズ
- お姉さんと歯磨き&簡単にできる歯周病チェック
- 医療的ケア(シミュレーターを使った吸引)体験コーナー



昨年の様子

介護施設見学・介護無料相談

施設を開放いたします。

25日(土) 14:00～16:00
26日(日) 10:00～16:00

- 併設の介護施設(サンシャインシティ、サンシャインプラザ)の見学や利用者の方の作品展



昨年の様子

第10回(平成26年度)地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

テーマ 『高齢社会を楽しく生きる秘訣とは』

参加費無料

日時 平成26年10月26日(日) 13:30～ 場所 福岡歯科大学 本館9階 901講義室
講師 岩本 昌子(中村学園大学)、塩田 悦仁(福岡大学)、米田 雅裕(福岡歯科大学)
問い合わせ・申し込み先 福岡歯科大学 TEL.092-801-0411(企画課:内線508)



歯学体 第46回全日本歯科学生総合体育大会



ヨット部



バドミントン部



ボクシング部



第46回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門(事務主管 日本歯科大学新潟生命歯学部)が、7月31日から8月10日にかけて、新潟県を主な競技会場として開催されました。本学は創設以来初めてヨット部が優勝した他、バドミントン部、ボクシング部(オープン競技)が優勝しました。また、弓道部の男子個人、空手道部の個人戦で優勝、剣道部の個人戦 初段・無段の部で準優勝するなど健闘しましたが、総合成績では参加校29校中、本学は12位という結果でした。各クラブの成績は下表のとおりです。



ラグビーフットボール(冬季部門)部



バレーボール部



剣道部



弓道部



ゴルフ部



硬式庭球部



バスケットボール部



水泳部



空手道部



柔道部



硬式野球部



サッカー部



ボウリング部

| 参加クラブ | 順位 | 摘要 |
|-------------------|-----|--|
| ヨット部 | 優勝 | <ul style="list-style-type: none"> ●団体 優勝 ●スナイブ級 個人優勝 新郷・小嶺ペア ●スナイブ級 4位 合屋・倉永ペア |
| バドミントン部 | 優勝 | <ul style="list-style-type: none"> ●男子団体 優勝 ●男子個人ダブルス 優勝 杉原・小川ペア |
| ラグビーフットボール(冬季部門)部 | 3位 | — |
| バレーボール部 | 7位 | <ul style="list-style-type: none"> ●女子 3位 |
| 剣道部 | 9位 | <ul style="list-style-type: none"> ●〔個人戦/初段・無段の部〕 2位 幡地秀栄(4年) 3位 根木良征(4年) ●〔個人戦/式段以上の部〕 3位 原 慎平(1年) 5位 中山 侑弥(1年) |
| 弓道部 | 10位 | <ul style="list-style-type: none"> ●男子 5位 女子 11位 ●個人男子 優勝 富田洋嘉(3年) ●個人女子 6位 中野朱梨(短大2年) |

| 参加クラブ | 順位 | 摘要 |
|-----------|-------|--|
| ゴルフ部 | 11位 | — |
| 硬式庭球部 | 15位 | <ul style="list-style-type: none"> ●女子団体 12位 ●男子団体 21位 |
| バスケットボール部 | 順位確定外 | ●男子 8位 |
| 水泳部 | 順位確定外 | <ul style="list-style-type: none"> ●〔新人戦〕 男子50m平泳ぎ 5位 高木拓也(1年) 男子50m背泳ぎ 7位 伊藤拓郎(1年) |
| 空手道部 | 順位確定外 | ●男子個人戦 優勝 坂田凜太郎(2年) |
| 柔道部 | 順位確定外 | ●予選敗退 |
| 硬式野球部 | 順位確定外 | ●一回戦敗退 |
| サッカー部 | 順位確定外 | ●一回戦敗退 |
| ボウリング部 | 順位確定外 | ●予選敗退 |
| ボクシング部 | 優勝 | <ul style="list-style-type: none"> ●オープン競技 ●団体 優勝 ●最優秀選手賞 熊谷圭志朗(3年) |
| サーフィン部 | — | 台風接近のため、大会中止 |

インタビュー 関口 睦夫 客員教授にインタビュー

平成26年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、本学の研究プロジェクト「疾患の発症と進展を抑制する分子基盤」が採択されました。そこで、このプロジェクトの指揮をとられる先端科学研究センター長の関口睦夫客員教授にお話を伺いました。

先生のご経歴を教えてください。

私は和歌山県出身で、大阪大学の理学部へ入学、卒業後は大学院へ5年行き学位をもらってから金沢大学医学部で助手をしました。その頃はまだ分子生物学は確立されていませんでしたが、遺伝子の本体はどういうものか興味があったので研究を始めたんです。その後は、アメリカの

ペンシルヴァニア大学医学部とパージュー大学生物学部で博士研究員として働

先端科学研究センター長
関口 睦夫 客員教授



き、日本に帰ってきて九州大学で教鞭をとりました。研究も行いながら長年勤め、1996年から福岡歯科大学で働きはじめて今に至ります。

これまで様々な研究プロジェクトを進めてこられました。この度新たなプロジェクトが採択されましたね。

今回のプロジェクトはアクティブに研究されている教授や准教授・講師の先生方に参加してもらっています。良い歯科医師を育てるためにも、機動的に新しい方向性を探り、結果を導き出していきたいです。

今回のテーマに決められた理由は何だったのでしょうか。

「疾患」を今回のテーマにも取り入れています。最近では元気な高齢者が増えてきました。これは環境が大きく作用しています。どの環境で疾患が発症するのか、刺

激を与え続けるとどのような効果があるのか。そのメカニズムを解明することはとても重要なことだと思いますね。物事の裏に何かあるのか、これは研究することによって見えてきます。私は常に新しい情報を取り入れ、成長することが大切だと思っていますので、若い研究者も口腔医学を学んでいる学生にも、既存の方法だけでなく、さらなる疾患にも対応できる能力を身に付けてもらいたいと考えています。

プロジェクトへの意気込みをお願いします。

若手の研究者が意欲的に研究に打ち込み、違う分野の方々が学問的ディスカッションをすることで良い刺激になり、見えなかったものが見えてくる。それが新しい芽を出すきっかけになり、日本だけでなく世界に役立つ結果につながればと思います。

表彰 福岡歯科大学最優秀教育改善賞が決定

福岡歯科大学は、今年度から、教育方法の工夫・改善に取り組み、顕著な教育成果をあげた教員、また、授業において、卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践した教員を表彰する「福岡歯科大学最優秀教育改善賞」を設けています。この賞の第1回受賞者として、大関悟教授（口腔腫瘍学分野）が決定し、平成26年8月29日に表彰式が執り行われました。表彰式では、表彰盾授与に続いて、田中理事長、北村学長からお祝いと労いの言葉が送られました。おめでとうございます。



原田 博文教授 ご逝去

福岡歯科大学の原田博文教授が9月18日逝去されました。同氏は、昭和57年に防衛医科大学校医学科を卒業後、福岡大学医学部助手、講師、助教授を経て、平成19年4月より、福岡歯科大学 総合医学講座耳鼻咽喉科学分野教授として大学の発展のため尽力されました。享年57歳。合掌。



谷口 邦久前教授、名誉教授に

谷口 邦久 名誉教授

8月3日付けで、谷口邦久前教授（病態構造学分野）に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。谷口名誉教授は平成26年3月に退職されるまでの38年間、福岡歯科大学の教育・研究の向上に尽力し、多くの研究業績を残されました。



任命

先端科学研究センター長

関口 睦夫 客員教授

〈略歴〉大阪大学理学部卒、同大学院博士課程修了。アメリカのペンシルヴァニア大学医学部、パージュー大学生物学部で博士研究員として勤務。九州大学医学部助教授、同理学部教授、同医学部教授、同生体防御医学研究所教授を経て、1996年に福岡歯科大学教授就任。現在は同客員教授。理学博士。



先端科学研究センター副長

田中 芳彦 教授

〈略歴〉熊本大学医学部医学科卒。同大学院医学研究科修了。米国・ラホヤ免疫アレルギー研究所 研究員、同リサーチサイエンティスト、九州大学生体防御医学研究所 助手、同助教、同准教授を経て、平成25年9月福岡歯科大学教授（感染生物学分野）に就任。博士（医学）。鹿児島出身。



修行 第6学年が東林寺で座禅

7月13日、福岡市博多区にある東林寺にて、第6学年を対象とした講話及び座禅が行われました。参加した77名の学生は、国家試験へ向けての精神鍛錬の修行を行い、気持ちを新たにしました。



納涼祭 サンシャインシティ 納涼祭

介護老人保健施設サンシャインシティの納涼祭が8月3日に行われました。清流室見川たむら太鼓による太鼓演奏やかき氷の早食い競争、福岡医療短期大学歯科衛生学科の学生によるダンスの披露、芸能ボランティア紫陽花による演目、お楽しみ抽選会等が催され、参加した利用者やご家族、ボランティアの方々や職員などは、共に楽しい時間を過ごしました。



セミナー 老化制御研究センター 第2回研究発表会開催

9月30日、老化制御研究センター第2回研究発表会「老化の抑制と疾患の制御における環境ストレスとゲノムの応答」が行われました。これは昨年開催された「第1回老化制御シンポジウム」に続いて開催されたもので、大学院生や教員は老化制御に関する最新の研究発表に熱心に耳を傾けていました。

- 講演内容
- 「酸化RNAの排除機構」：早川 浩 教授
 - 「酸化ヌクレオチドと遺伝情報発現異常」：井口 八郎 客員教授
 - 「高齢者口腔粘膜の細胞分子生物学的基盤についての研究 ~酸化ストレスによる ケラチノサイトの細胞老化と発がんとの関係~」：池邊 哲郎 教授
 - 「クロマチンモデリング因子Rdh54による染色体安定化機構 ~セントロメア特異的ヒストンCse4を介した新規作用について~」：梅津 桂子 教授
 - 「発がんを抑制するアポトーシスの機構」：日高 真純 教授
 - 「TRP分子による硬組織石灰化と疾患発症機構の解明」：岡部 幸司 教授
 - 「歯周病原菌由来TLRリガンドによる糖尿病性腎症の発症」：沢 禎彦 教授
 - 「S-PRGイオン溶出液が口腔環境におよぼす影響」：米田 雅裕 教授
 - 「実験的自己免疫性ぶどう膜炎におけるIL-27とIL-35の役割」：川野 庸一 教授
 - 「プロバイオティクスと口腔疾患」：廣藤 卓雄 教授
 - 「細胞培養技術を用いた歯と歯周組織の再生に関する研究」：坂上 竜資 教授
 - 「顎骨のコラーゲンの特異性に関する研究」：佐藤 博信 教授
 - 「脳血管障害と免疫・酸化ストレス」：大星 博明 教授



特別講義 大学院特別講義

7月8日に本館5階504講義室において、ニューヨーク大学歯学部生体材料・生体情報学科 John L. Ricci准教授による“Laser-Lok Research Update science, documentation and clinical evidence of supracrestal connective tissue attachment”（骨縁上性結合織性付着の臨床的エビデンスと科学的考察）と題した大学院特別講義が開催されました。大学院生をはじめ、教員も多く参加し、聴講者は熱心に耳を傾けていました。



John L. Ricci准教授

New Sophiaコラム「水の如し」

「宣長とやまと心」

昔の日本人の美の中心概念は「もののあわれ」でした。「あわれ」とは「あゝ」と感動して涙を流す風情です。平安時代であれば「あゝ」と感動して和歌を読むのが知識人の生活スタイルでした。感動して五七五の和歌を詠ずという風習は中国にもインドにもない日本独特のものかもしれません。江戸時代の国学者本居宣長は儒教や仏教や漢字が日本に入ってくる

前の原日本人とも云うべき我々の祖先の思想が何であったかと考え、これを「やまごころ」として古事記伝を著しました。日本人の魂は中国やインドの外来思想（これをからごころと云います）で汚染されている。漢文で書かれた日本書紀と違って古事記は日本固有の和語を万葉がなで記したもので、古事記の言葉を深く研究することによって、からごころに汚染される前

の日本人固有の意識がわかると考えたのです。オリンピックで日の丸を見上げて涙する日本人共通の態度は古代のやまごころが遺伝しているのかもしれませんが。宣長は和歌をうたうことによってやまごころを求めたのでしょうか。我々は人生の垢や滓やメッキで蔽われていますが、自分本来の「まごころ」は何か、宣長の気持ちになって遠くを見つめてみてはいかがでしょうか。

大阿蘇会総会・学術講演会

椿 誠

平成26年5月31日(土)午後4時よりホテル日航熊本で大阿蘇会総会が開催されました。総会では「今後終身会員が増えていくことに対して、新規会員をどの様にして獲得していくか」などが話し合われました。総会后、午後5時より福岡歯科大学医科歯科総合病院副病院長(総合医科学講座 内科学分野 教授)大星博明先生をお招きし『歯科治療に役立つ最新の内科治療』と題して学術講演会が開催されました。

今後超高齢化社会を迎える現在において我々歯科医師が日常診療を行うに当たり有病者の治療は避けては通れない現状があります。医科歯科連携により患者さんの病状を医科に問い合わせを行う際に、歯科の先生から『患者さんの今の病状で歯科処置(抜歯・小手術)を行っても大丈夫ですか?』と聞かれる場合がよくあると耳にします。医科の先生はそんな責任は負ってくれません!患者さんの検査データなど情報提供はして頂けますが、その後は我々歯科医師が判断し処置を行わなければなりません。そのために今回の講演は、特に歯科治療や周術期の管理で重要と考えられる高血圧症、糖尿病、脳血管障害、虚血性心疾患を中心に、歯科医師の視点に立った最新の内科診療について

ご講演を頂きました。また、開発が相次ぐ新規治療薬の特徴とピットフォール、また、新規経口抗凝固薬(NOAC)を含めた抗血栓薬に関する内科領域のガイドラインなどの解説もしていただきましたが、時間に限りがあった為、会員からはもっと話を聞きたいとの意見をいただいたので再度ゆっくり時間を取って講演をお願いしたいものです。

本大学の教育課程においてもこの状況を踏まえて、十分な医学知識を伴った歯科医師、すなわち口腔のスペシャリストの育成を目標に、口腔医学の提唱と確立を全国に先駆けて推進しているとのことでした。私も卒業して20年を超えましたが、改めて初心に戻り全身管理の勉強をしなければと痛感した講演会でした。大星教授、ありがとうございました。



卒業生NOW

自己実現を目指して

秦 省三郎(31期生)



こんにちは。福岡歯科大学31期卒業の秦省三郎と申します。私は歯科医師国家試験に合格した後、本大学の矯正歯科学分野にて臨床研修を修了し、その後大学院へ進学しました。大学院では、私が所属しております矯正歯科学分野の石川博之教授と分子機能制御学分野の山崎純教授から研究指導を賜りまして、今年の3月に学位を取得することができました。理想とする臨床と研究の両立は本当に大変で、石川教授、山崎教授をはじめ、多くの先輩、後輩の先生方から支えていただいたおかげでここまで成長することができました。現在は、医員として勤務させていただいており、これまで私が教わったことを後輩達に伝えていきながら、また自分の成長に繋げていきたいと思って日々過ごしています。

私は矯正歯科学を専攻していますが、その理由は、矯正という学問の奥深さは勿論のこと、最初のきっかけは私が高校3年の頃に他界した

父が矯正歯科医だったということです。当時の私は父がどのような歯科医師だったのか全く知りませんでした。しかし、自分が同じ道へ進むことによって、当時の父を知る先生方からお話を聞かせていただいたり、たくさんの激励の言葉をいただく機会を得ることができました。そして、人と人の繋がり温かさを学ぶことができました。また、同じ矯正という学問を学ぶことにより、父の歩んできた人生が今やっと少しだけ分かってきたような気がします。

私はまだまだ未熟者で、失敗して落ち込むことばかりです。先日、学生時代に所属していた男子バスケット部の監督を務めさせていただいていた兼ね合いで、オールデンタルへ行ってきました。どんな逆境に立たされても、お互いに声を掛け合い、最後まで諦めずに頑張っている現役部員達の姿を見て、自分ももっと頑張ろうと勇気を貰うことができました。

これからも一步一步、少しずつ成長しながら、父に胸を張れるような歯科医師になりたいと思います。



同窓生からの手紙

中国ブロック同窓会の取り組み

深井 修一(3期生)

現在中国ブロック(山口県、広島県、岡山県、島根県、鳥取県)には約300名の同窓会員が在籍し、それぞれの地域において、日々の診療に頑張っています。

十数年前より中国ブロックでは役員会を毎年3月に開催しており、その年の事業計画を決め、ブロック合同の学術講演会および懇親会を開催しています。

また同窓会本部のブロックの役割強化という方針に対応するため、昨年より中国ブロック内で同窓会員一人あたり500円を各県からまとめて徴収し、ブロック内の活動が幅広く行えるようにしています。

今年度は、11月16日(日)にリーガロイヤルホテル広島(広島市)において、中国ブロックの学術講演会及び懇親会を開催予定です。学術講演の方は、咬合修復学講座の高橋教授(3期生)にお願いしています。

中国ブロック会長は2年2期(合計4年)で他県に必ず交代し、なるべく各県の方にブロック会長をやってもらおうようにしています。これは中国ブロックが九州から離れているので各県の方にブロック会長、本部副会長として直接本部の雰囲気を感じてもらい、本部との距離感をなくそうというのが主なねらいです。現在、これがとてもうまく機能しています。

本部においては、宮口会長のもと、若い役員の方の活躍が多く見られるようになってきています。中国ブロックでも若い先生方にどんどん活躍してもらい、本部と連携して母校の発展に寄与していきたいと思っています。

一 卒後三十年を振り返って

菅原健二 (7期生/歯科 菅原健二医院(大分県大分市))

常に謙虚な心で

こんにちは。7期卒業テニス部の菅原健二と申します。

早いもので来年で卒業30年を迎えようとしています。卒業後、福岡市内の1期生でテニス部創設者の今は亡き坂本良春先生のとこで、患者さんとの接し方や歯科診療のスキルをいかに高めていくかなどの歯科医師としての基本姿勢を勉強させていただきました。

その後昭和63年4月に現在地大分市津留に開業し早いもので26年になります。開業当初から、霞が関納富コース、船越歯周病研修会、JIAADSペリオ・補綴コース、SJCD本多・木原コース、九州インプラント100時間コース、SJCD山崎先生マスターコースなど出来る限り時間を作り、研修会を受講しました。このような研修会に積極的に参加することにより、講師の先生に新しい技術や材料を教えてくださいただけでなく、歯科医療に対する考え方やその姿勢や歯科医師としての生き様を学びました。

開業当初はユニット3台、スタッフ3名で始めましたが、現在はユニット5台スタッフ6名になっ



一 常に学ぶテーマを持つ

太田文隆 (16期生/アイ歯科矯正歯科クリニック(熊本市中央区))

日々修行

皆様こんにちは。16期生の太田文隆です。現在、熊本市中央区にて開業しております。大学卒業後は

母校の成長発達歯学講座矯正歯科学分野(旧歯科矯正学講座)に入局し、大学院生および助手の時代を含め延べ9年間お世話になりました。在籍中には多数の先生方のご指導の下いろいろな経験をさせて頂き、学位および認定医も取得させて頂きました。矯正歯科学を9年間学んだ私は妻と3人の子供を引き連れて帰郷し、33歳から一般歯科を学ぶこととなり、遅咲きながら3年半前に41歳にして現地開業いたしました。

開業医としてはまだ駆け出しであり、より良い医院づくりのために自分なりに幾つかテーマを持って日々精進



しているつもりですが、なかなか自分・スタッフ・患者様と、皆が満足できるようなバランス良く目標をこなす事ができず、その難しさを痛感しております。特に診療面においては、専門分野である矯正と一般治療との特色ある包括的な医療を常に提供できるような心がけているのですが、未だに一般治療の中に矯正治療を上手に取り入れた治療方針の立案がスムーズにできないことが度々あり、その自然な発想のひらめきを現在の診療面でのテーマとしています。

また、プライベートでは先輩後輩や子供達など様々な人達とのつながりによつて小学生から始めた剣道を現在まで続けております。こちらも子供達を楽しませながら上達させる事のできる指導者としての立場あるいは競技者としての立場、それぞれにおいてテーマを持って指導や稽古を実践しており、皆からパワーを貰いながら頑張っております。

今後も公私に亘り様々な事柄に目標を持ち、エネルギーに変えながらチャレンジをしていきたいと思っております。



FROM STUDENTS

ミスジャポンを経験して



今川 澪 (第2学年)

みなさん、振袖以外で着物に袖を通したことがありますか？私は、着物が大好きで着物を着る機会が楽しみです。そのきっかけは去年、成人式の振袖を選んでいるときに母が持ってきた着物のモデル、ミスジャポン2013のオーディションの広告でした。私は、母に後押しされてオーディションを受けることになり、審査の結果、見事グランプリに選んでいただくことができました。

ミスジャポンとは、2000年から始まった、着物や日本の伝統文化の素晴らしさを沢山のの人に知ってもらおうという活動です。活動は、夏は浴衣、それ以外は着物を着て行きます。まず始めに、京都にて、日本を代表する着物の会社や、実際に作られている先生方にお会いし、沢山のことを学び、その後は、着付けやウォーキング、オリジナルソングを歌うためのボイストレーニングを受け、様々な活動に参加しました。福岡や久留米での様々なイベント出演や、月に2回のネット配信番組「ミスジャポン着物語り」、「アサデス」などの様々なメディア出演、東京、パリ、リヨンでの着物ショーへ出演するなど海外へも着物の素晴らしさを発信しました。

私は1年間の活動を経て、着物が一つ一つ素晴らしい作品であることを学びました。そして着る人達もそれを理解してほしい、日本の伝統文化の素晴らしさを世界へ発信したいと思うようになりました。大学に通いながらの活動はとてもハードでしたが、1年間の活動を無事終えられたのは、沢山の方々の支えがあったからこそだと思います。これから私は、ミスジャポンの経験を活かし常に周りの人に感謝する心を持ち、立派な歯科医師になれるよう精進していきたいと思っています。

最後は感覚で選ぶ

新郷 雅史 (第5学年)



ヨット部は本年度のオールデンタルにて個人・総合共に優勝することができました。総合優勝は創部以来初めてのことです。恥ずかしながらわたしは5年生になるまで幽霊部員だったので優勝体験記など語れる立場ではないのですが、自分自身とヨット部の関わりについて書かせて頂きます。

私は小学生の時に兄の影響でヨットというスポーツを始め、オリンピックを目指し、前の大学を卒業するまでの16年間をヨットに捧げてきました。そんなヨット馬鹿の私が、実は歯科大のヨット部には積極的に関わってきませんでした。理由は、全く勉強せずにヨットばかりしてきた自分の生き方にコンプレックスを感じていたからです。私はそのような考えで部活に殆ど顔も出さず、戒めの様にひたすら勉強をして大学生生活を送っていました。おかげで勉強の出来る真面目な学生として認識される様になりなしたが、今までと180度違う自分への評価は大変窮屈に感じるものでした。

そんな頃にヨット部の新主将から「本気で優勝を狙いたい」と声をかけてもらいました。それは身に余ると同時にとても心躍らせる言葉でした。それらしい理由を付けて散々ヨットを避けていたのに、たった一言で心動かされ、残されていたわずか1年間を全力で部活に取り組みました。



ただワクワクするからという理由で選んだ選択でしたが、最高の仲間と最高の結果を共有できました。私は細かい理由づけをするよりも感覚で物事を選択した方が良い結果になるタイプなかもしれません。

FROM PARENTS

天地人

世の中には、「天地人」という、3つのものの順序・席次を示す時に使う言葉があります。

今、歯科医師過剰、国家試験の選抜化傾向、確かに、歯科界は受難の時代といっても過言ではないと思います。しかし、逆に考えれば、この困難な時代に、実力を蓄えて壁を乗り越えていけば、選ばれた人であり、また職種です。

例えば、「地の利」からいえば、兵庫県より西では唯一の私立の歯学部です。まさに「オンリーワン」といった地域性を有しています。

「人の利」という意味では、見識にあふれ、かつ気力の充実された教職員の皆さんの集合体だと思います。また、今回の歯科医師国家試験では、残念ながら多くの大学が記録的な低い合格率となりました。しかし、考えようによっては「天の利」とも言えます。なぜならば、この厳しい時代に留年や卒業延期等の処置を行うことなく、より高い合格率を継続し向上していけば、国民の皆さんやマスコミ、行政関係の人々が、福岡歯科大学を高く評価して下さる、一つの大きな指標・目安になると思います。まさに、時代が与えてくれた「天の利」と考えれば、素晴らしいことではないでしょうか？

そして、このチャンスを掴み、目標を達成していくことが、「歯学の雄」から「私学の雄」へステップアップ出来るチャンスです。学生の皆さん、頑張ってください。



藤政 孝志 様
(父兄後援会評議員)

昭和から平成へ、更にその先へ。

80%以上と聞いて、学生の皆さんは、何を思い浮かべますか？この数字は、残念ながら、我校の、歯科医師国家試験の合格率では、ありません。歯科医師の開業率です。私たち、福岡歯科大学1977年度入学者の8割以上は、開業医として、日々、医療に携わっています。

私の学生時代、同級生が夏休みに、事前の連絡もなく沖縄を訪ねました。彼曰く「比嘉」という名前は珍しい苗字なので、電話帳でも数名のはずだからすぐ見つかる」との目論見でいたそうです。しかし「比嘉」は、沖縄の3大名字の1つで、見てびっくり、電話帳では数ページにまたがっており、結局その当時は会えずじまいでした。

卒業して数年後、私は開業するに当たり、医院の名前について逡巡していました。すでに、比嘉歯科医院は、数件存在していたので、結局名前を取り、ちはる歯科クリニックとしました。この地で地域医療にかかわり、縁あって私の子供たちが母校にお世話になることが出来、ふと考えたのです。開業当時はがむしゃらに突き進んで、まさか2代先までの見通しなど持たなかったのが、子供たちへの引き継ぎがあれば、また別の医院名を考えたかもしれないと、近視眼的思考に少し後悔の念に駆られました。

さあ、ここからが本題です。在校生の皆さんも、今後卒業し、そのほとんどは開業することでしょう。その中には私の様に、自ら開業する者もあれば、先代から家業として引き継ぐ人もあるかもしれません。歯科業が今後、何年、何代にもわたり、誇りを持って安定した継続が出来るよう、先輩として私も微力ながら頑張っ、学生の皆さんに明るい未来を残していきたいと思っています。在校生諸君の健闘を祈ります。



比嘉 千春 様
(父兄後援会評議員)

平成27年度 入学試験日程

福岡歯科大学

| 口腔歯学部 | | | | | | | |
|--------|--|--------------------|--------------|-------------------|---------------|--------------------|---|
| 区分 | 推薦・指定校推薦入試 | 一般入試A日程 | センター試験利用入試I期 | 一般入試B日程 | センター試験利用入試II期 | AO入試II期 | 学士等編入学試験 |
| 募集人員 | 約15名 | 約47名 | 約5名 | 約10名 | 約2名 | 若干名 | 若干名 |
| 願書受付期間 | H26.10.20(月)～11.7(金) | H27.1.5(月)～1.30(金) | | H27.2.2(月)～3.5(木) | | H27.3.2(月)～3.20(金) | H26.10.27(月)～11.27(木) |
| 試験日 | H26.11.8(土) | H27.2.2(月) | | H27.3.6(金) | | H27.3.23(月) | H26.12.1(月) |
| 合格発表日 | H26.11.12(水) | H27.2.4(水)午後5時 | | H27.3.10(火)午後5時 | | H27.3.24(火) | H26.12.3(水) |
| 試験会場 | 福岡歯科大学試験場 | 福岡歯科大学試験場及び東京試験場 | | | 福岡歯科大学試験場 | | |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp ●E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話及びスマートフォン用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col/deviceselect.html | | | | | |  ◀携帯電話からのアクセスはこちら! |

福岡医療短期大学

| 歯科衛生学科 | | | | | | | | | | 専攻科・口腔保健衛生学専攻 | | |
|--------|--|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|---|------------------|------------------|--|
| 区分 | 指定校推薦入試 | 公募推薦入試(I) | 公募推薦入試(II) | 一般入試A日程(社会人含む) | 一般入試B日程(社会人含む) | 一般入試C日程(社会人含む) | 一般入試D日程(社会人含む) | AO入試(社会人含む) | 一次募集 | 二次募集 | 三次募集 | |
| 募集人員 | 約10名 | 約10名 | 約5名 | 約15名 | 約5名 | 若干名 | 若干名 | 約35名 | 約15名 | 約5名 | 若干名 | |
| 願書受付期間 | H26.10.1(水)～16(木) | H26.11.7(金)～20(木) | H26.12.8(月)～11(木) | H27.1.5(月)～28(水) | H27.2.2(月)～9(月) | H27.2.16(月)～3.4(水) | H27.3.9(月)～23(月) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 | H26.12.8(月)～11(木) | H27.1.5(月)～28(水) | H27.3.9(月)～23(月) | |
| 試験日 | H26.10.18(土) | H26.11.22(土) | H26.12.13(土) | H27.2.1(日) | H27.2.12(木) | H27.3.6(金) | H27.3.25(水) | | H26.12.13(土) | H27.2.1(日) | H27.3.25(水) | |
| 合格発表日 | H26.10.23(木) | H26.11.27(木) | H26.12.18(木) | H27.2.5(木) | H27.2.19(木) | H27.3.12(木) | H27.3.26(木) | | H26.12.18(木) | H27.2.5(木) | H27.3.26(木) | |
| 試験会場 | 福岡医療短期大学 | | | | | | | | 福岡医療短期大学 | | | |
| 保健福祉学科 | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 指定校推薦入試 | 公募推薦入試(I) | 公募推薦入試(II) | 一般入試A日程(社会人含む) | 一般入試B日程(社会人含む) | 一般入試C日程(社会人含む) | 一般入試D日程(社会人含む) | AO入試(社会人含む) | | | | |
| 募集人員 | 約10名 | 約5名 | 約5名 | 約5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 約15名 | | | | |
| 願書受付期間 | H26.10.1(水)～16(木) | H26.11.7(金)～20(木) | H26.12.8(月)～11(木) | H27.1.5(月)～28(水) | H27.2.2(月)～9(月) | H27.2.16(月)～3.4(水) | H27.3.9(月)～23(月) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 | | | | |
| 試験日 | H26.10.18(土) | H26.11.22(土) | H26.12.13(土) | H27.2.1(日) | H27.2.12(木) | H27.3.6(金) | H27.3.25(水) | | | | | |
| 合格発表日 | H26.10.23(木) | H26.11.27(木) | H26.12.18(木) | H27.2.5(木) | H27.2.19(木) | H27.3.12(木) | H27.3.26(木) | | | | | |
| 試験会場 | 福岡医療短期大学 | | | | | | | | | | | |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp | | | | | | | |  ◀携帯電話からのアクセスはこちら! | | | |

キャンパス歳時記

学芸部写真展開催

9月22日から10月4日まで、福岡医科歯科総合病院1階にて学芸部の写真展が開催されました。病院玄関入口に作品パネルを展示し、待合室ではテレビモニターに作品をスライドショーで映し、来院された方々にご覧いただきました。



編集後記

表紙の写真はオールデンタルでのヨット部です。いかがでしょうか。編集子も指導している部を応援に行ってきました。遠い開催地でその場だけの空気を吸い、得がたい経験でした。何かからだけのことを学び取れるか人それぞれですが、当事者の学生たちはよりもっと多くの事を学んでくれたことでしょう。(NT)

福岡歯科大学オープンキャンパス

7月26日、8月2日の2日間、福岡歯科大学オープンキャンパスを開催しました。高校3年生や編入学を考えている受験生を始め、歯学に興味をお持ちの小学生にも参加していただきました。

参加者からは、「患者型ロボットが本物の人間に見えて驚いた」、「実習で先生方に細かく指導してもらい、歯科医師への関心をより一層持つことが出来た」、「在学生の先輩方と色々話が出来た」など、参加して良かったと喜びの声を頂きました。

